

# 新年のごあいさつ

## 合併後のまちづくりを礎に、新たなビジョンへ

津市長 前葉泰幸

あけましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えの心からお喜び申し上げます。

昨年は、新 津市誕生10周年を迎え、10の市町村の誇り高き決断によって成し遂げられた合併という偉業を受けて、市民の皆さまの幸せな暮らしを実現するために、やるべきことを全身全霊で取り組まなければならないと決意を新たにしました。

これまで、合併当時の期待や願い、想いを受け、合併という大きな構造改革によるメリットを活かしながら、合併時に取り組むべきとしていた多くのことを実現し、将来を見据え、新たにやるべきことについても時機を逸することなく取り組んできました。

その一端として、この春には、津市応急クリニックと教育委員会庁舎が完成します。平成26年度から着手していた一志中学校の大規模改造工事も終了し、西が丘小学校では校舎の増築により、プレハブ校舎も解消します。10月には産業・スポーツセンターもオープンします。

合併後の取り組みの中で、市民の暮らしをより充実させるため、合併時には想定していなかった事業も実を結びます。

美杉地域における地域医療の確保を目指し、新たな診療施設として、津市家庭医療クリニックを開設します。企業支援や企業誘致、創業支援をワンストップで継ぎ目のない総合的なものとする(仮称)津市ビジネスサポートセンターを創設します。

少子化や高齢化を伴う人口減少の進展、社会保障費の増加、インフラの老朽化に加えて、合併による財源に係る国の特例措置である地方交付税も平成28年度から段階的に縮減され、市民サービスの向上のために活用してきた合併特例事業債の償還もこれから本格化するなど、市政を取り巻く環境は厳しさを増していきます。

基礎自治体たる津市の責務は、いかなる状況下においても市民の皆さまの幸せな暮らしを実現することであり、それを守り続けることです。

今年は、新しい総合計画の策定を進め、合併後のまちづくりを礎にした新たなまちづくりのビジョンを市民の皆さまと共に描く重要な一年になります。市民の皆さまの幸せな暮らしの実現に向けたビジョンをしっかりと描いてまいります。

皆さまにとって、本年が笑顔あふれる一年となりますことをお祈り申し上げ、新年のあいさつといたします。